



平成24年3月16日

各位

会 社 名	株式会社 葵プロモーション
代 表 者	代表取締役社長 藤原 次彦 (コード番号9607 東証第一部)
問 合 せ 先	専務取締役 八重樫 悟 TEL03(3779)8000

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2013年3月期から2015年3月期までの3カ年の中期経営計画を策定いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

葵プロモーショングループ 中期経営計画

(2013年3月期～2015年3月期)



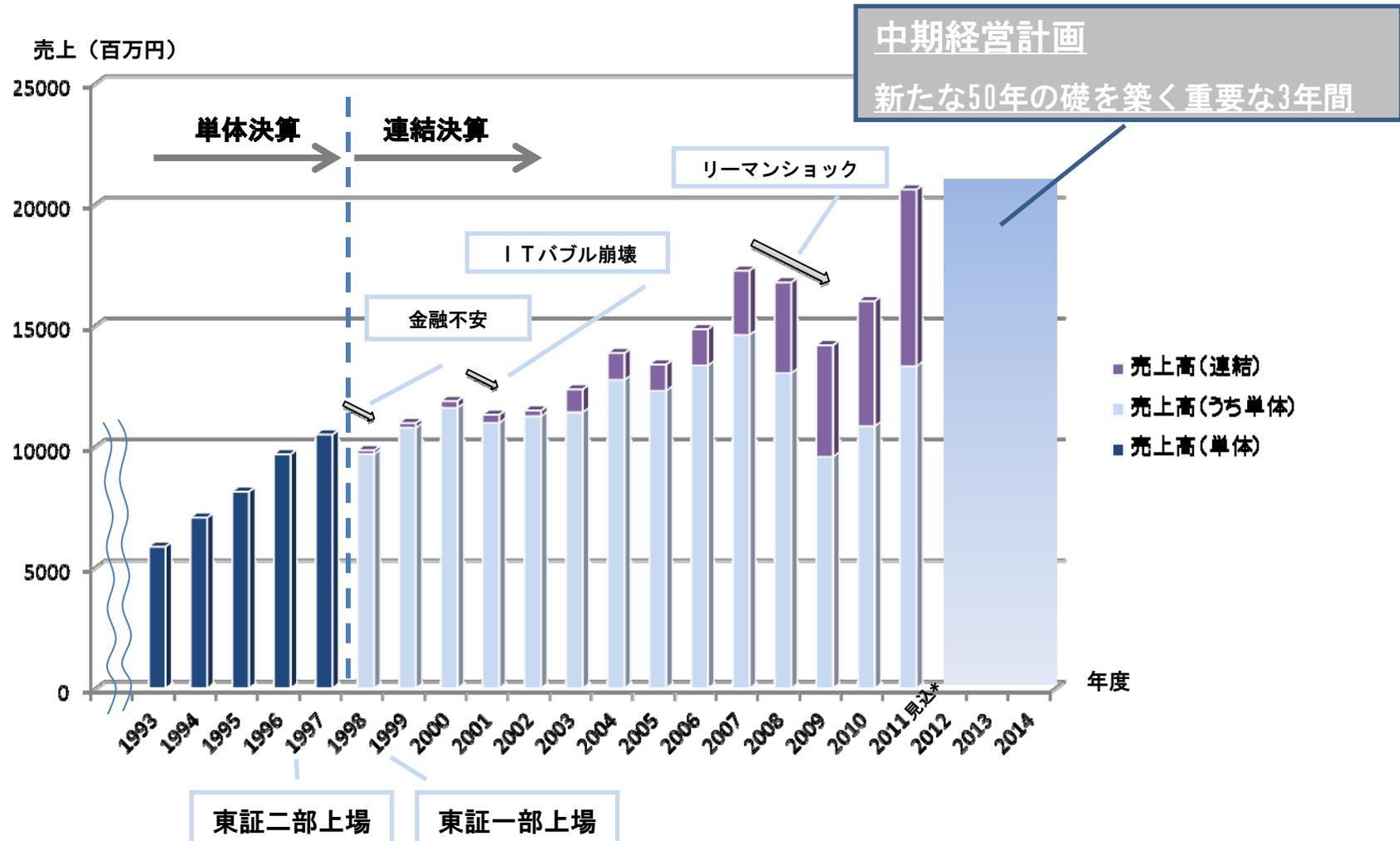
2012年3月16日
株式会社 葵プロモーション

目次

中期経営計画の位置付け	・ ・ ・	1
これまでの取組み	・ ・ ・	2
基本方針	・ ・ ・	3
当社グループを取り巻くビジネス環境変化とキーワード	・ ・ ・	4
当社グループの成長イメージ	・ ・ ・	5
3つの事業戦略を実現するための新たな取組み	・ ・ ・	6
3つの事業戦略を支える基盤	・ ・ ・	7
新しい組織体制	・ ・ ・	8
当社グループ 12社	・ ・ ・	9
中期連結経営目標	・ ・ ・	10

中期経営計画の位置付け

第50期にあたる2013年3月期を機に、2013年3月期～2015年3月期を葵プロモーショングループが迎える次の50年の礎となる重要な期間として捉え、中期経営計画を策定しました。



* 2011年度見込は、2012年2月10日に発表した業績予想に基づくもの。

これまでの取組み

2010年に藤原次彦が代表取締役社長に就任した際に以下の3つの事業戦略を掲げ、その実現に積極的に取り組んできました。

3つの事業戦略

<第1の柱>

主力であるテレビCM、WEBコンテンツ等広告映像制作における業界シェア拡大のための、営業力・技術力強化とクロスメディアに対応できる人材・グループ会社の育成。

<第2の柱>

これまで培ってきた映像制作に関わるノウハウをフル活用することによるビジネス領域の拡大。

<第3の柱>

われわれの財産である創造力を異業種とコラボレーションさせることで生まれる新規ビジネスの開発。

取組み

<Web分野の強化>

- ・ビジネス・アーキテクツの子会社化
- ・葵デジタルクリエイションの吸収合併

<広告セールスプロモーション分野の強化>

- ・ティー・ケー・オーの子会社化

<映像制作ノウハウの写真ビジネスでの活用>

- ・ホリーホック設立

<日本の映像制作ノウハウを日本企業が数多く進出するアジア領域で活用>

- ・PT. AOI ASIA INDONESIAの設立

<「週刊パーゴルフ」のブランド力・編集力と、当社グループが持つデジタル映像制作技術、エンタテイメントコンテンツ制作ノウハウと創造力のコラボレーション>

- ・パーゴルフの子会社化

基本方針

今次中期経営計画の基本方針としても、引き続き3つの事業戦略を踏襲し、それを支える基盤の構築にも注力します。

3つの事業戦略

<第1の柱>

主力であるテレビCM、WEBコンテンツ等広告映像制作における業界シェア拡大のための、営業力・技術力強化とクロスメディアに対応できる人材・グループ会社の育成。

<第2の柱>

これまで培ってきた映像制作に関わるノウハウをフル活用することによるビジネス領域の拡大。

<第3の柱>

われわれの財産である創造力を異業種とコラボレーションさせることで生まれる新規ビジネスの開発。

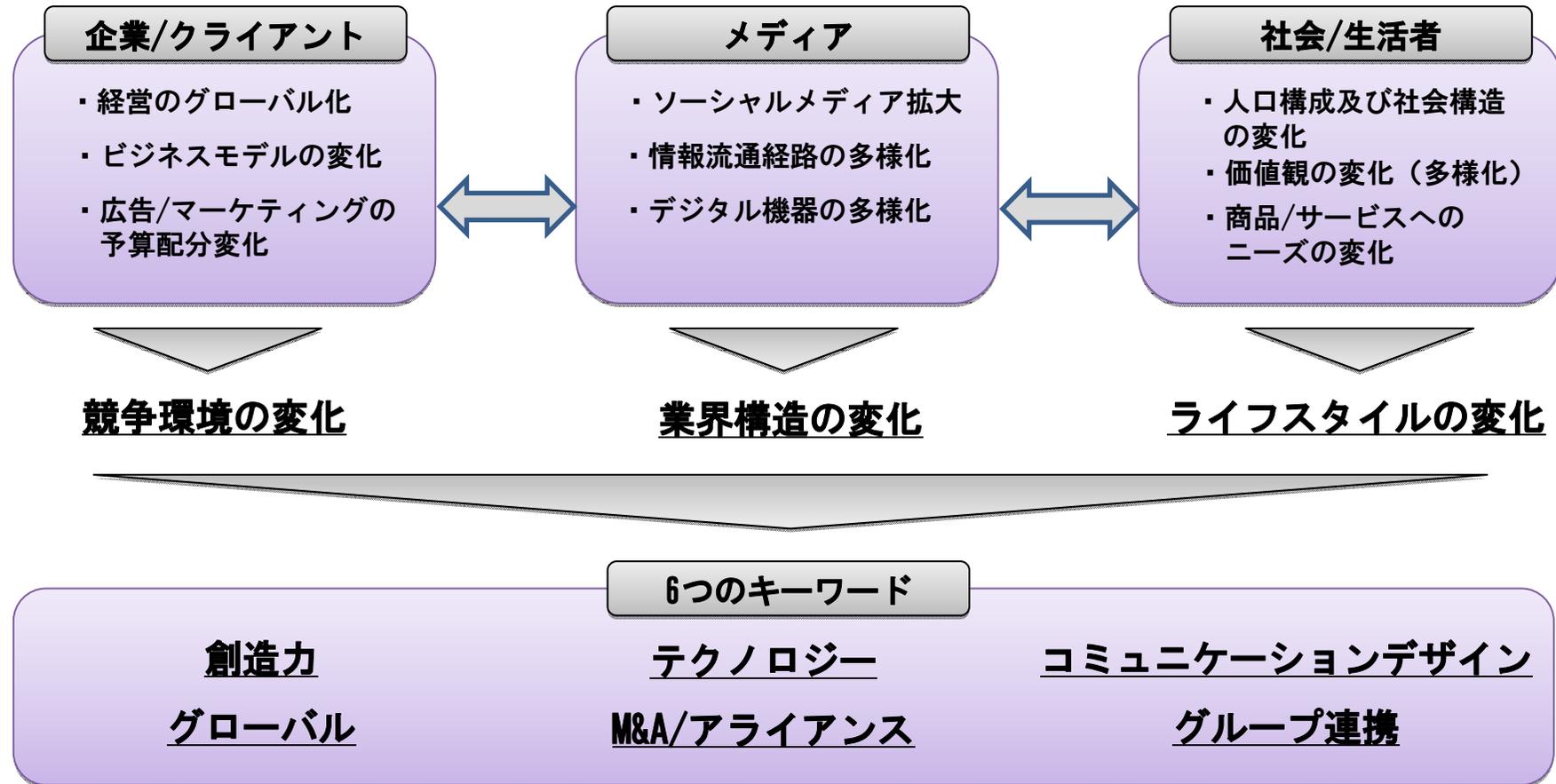
3つの事業戦略を支える基盤

葵プロモーションのDNAを受け継いだプロフェッショナルを育成する仕組みの構築

スピード感のある効率的な経営を支えるための組織及びグループ管理体制の構築

当社グループを取り巻くビジネス環境の変化とキーワード

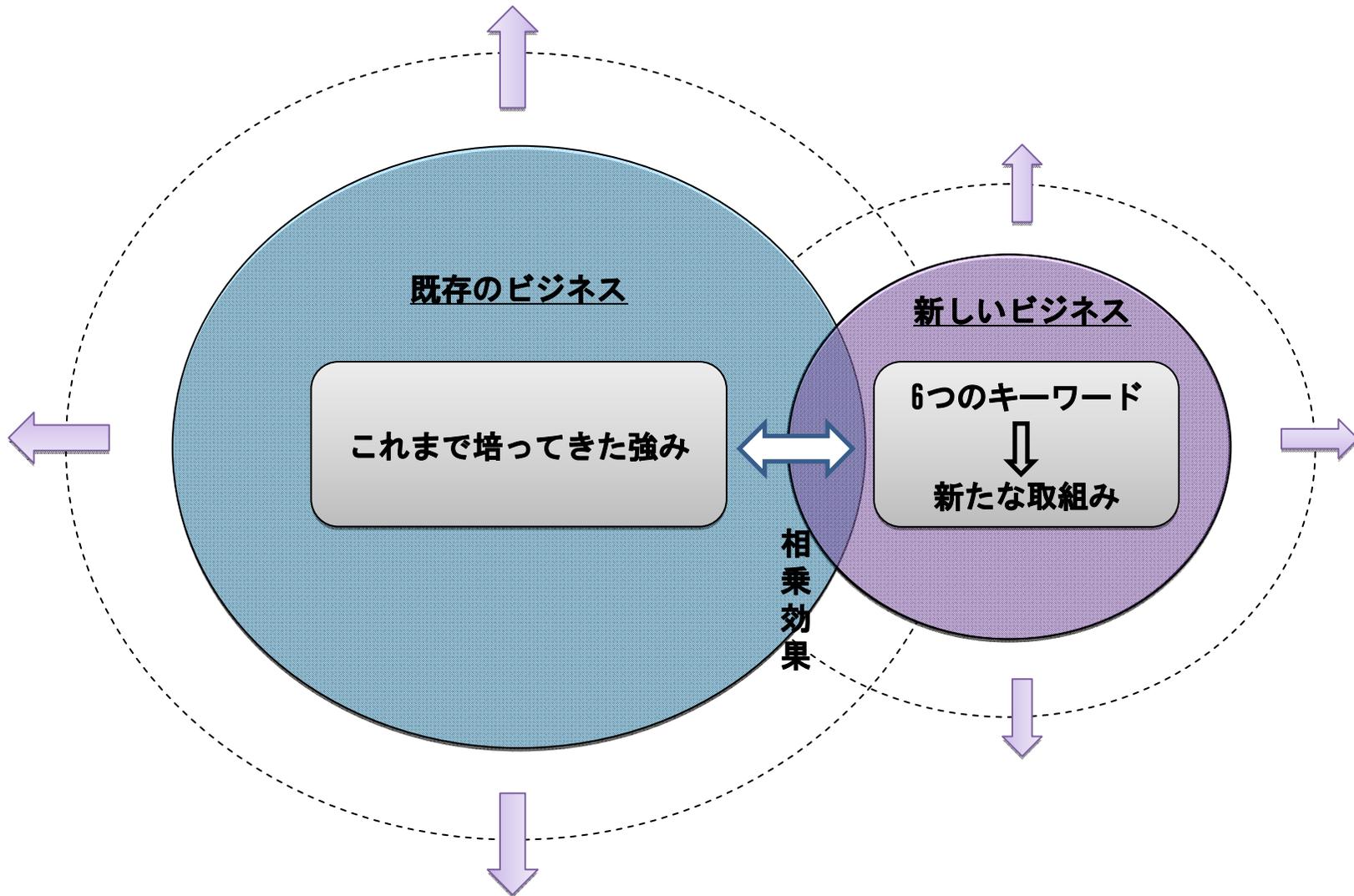
社会全体の構造が大きく変化する転換期を迎えており、以下のような新たな視点を加えてビジネスモデルをブラッシュアップしていく必要があります。



「事業戦略×キーワード」を軸に新たな取組みを推進

当社グループの成長イメージ

これまでの広告映像制作事業で培ってきた強みと、前頁のキーワードを踏まえた新たな取組みの相乗効果により、既存のビジネス、新しいビジネスを共に成長させていきます。



3つの事業戦略を実現するための新たな取組み

6つのキーワード	概要
創造力	映像制作で培った「創造力」を、他の領域でも活用し、継続的に新しいビジネスに挑戦する。
テクノロジー	クラウド、高速データ通信、スマートデバイスなど、日々生み出されるテクノロジーを活用したコンテンツ制作ノウハウを蓄積し、今回新設するビジネスプロデュース部、UX*1プロデュース部、ソーシャルアプリ事業部を中心にクライアントごとに最適化されたソリューションを提供する。 また、BTL*2 領域においても、映像制作を軸に新しいテクノロジーを活用したビジネスモデルを構築する。
コミュニケーションデザイン	クライアントの要望に沿った適切なコミュニケーションプランをメディア横断的にデザインできるような体制を、今回新設するコミュニケーション戦略部を中心に構築する。
グローバル	日本企業の海外進出、外資系企業の海外でのプロモーションをサポートする。
M&A/アライアンス	コンテンツ制作分野において明確な強みを持った企業や、技術、特許を有した企業とのM&A/アライアンスを中心に、既存のビジネスとのシナジーが見込める新しいビジネスを模索する。
グループ連携	各グループのソリューションを組み合わせ、クライアントへ提供する体制を、コミュニケーション戦略部、ビジネスプロデュース部を中心に構築する。

*1 UX・・・User Experience (ユーザ体験)

*2 Below the line・・・4マスメディア以外のプロモーションメディア及び手法

3つの事業戦略を支える基盤

蔡プロモーションのDNAを受け継いだプロフェッショナルを育成する仕組みの構築

- 人材開発部を新設し、当社グループの事業戦略に合った人材の採用、育成の強化を図る。
- 「AOIグループ all匠プロジェクト」を全グループを対象に推進。

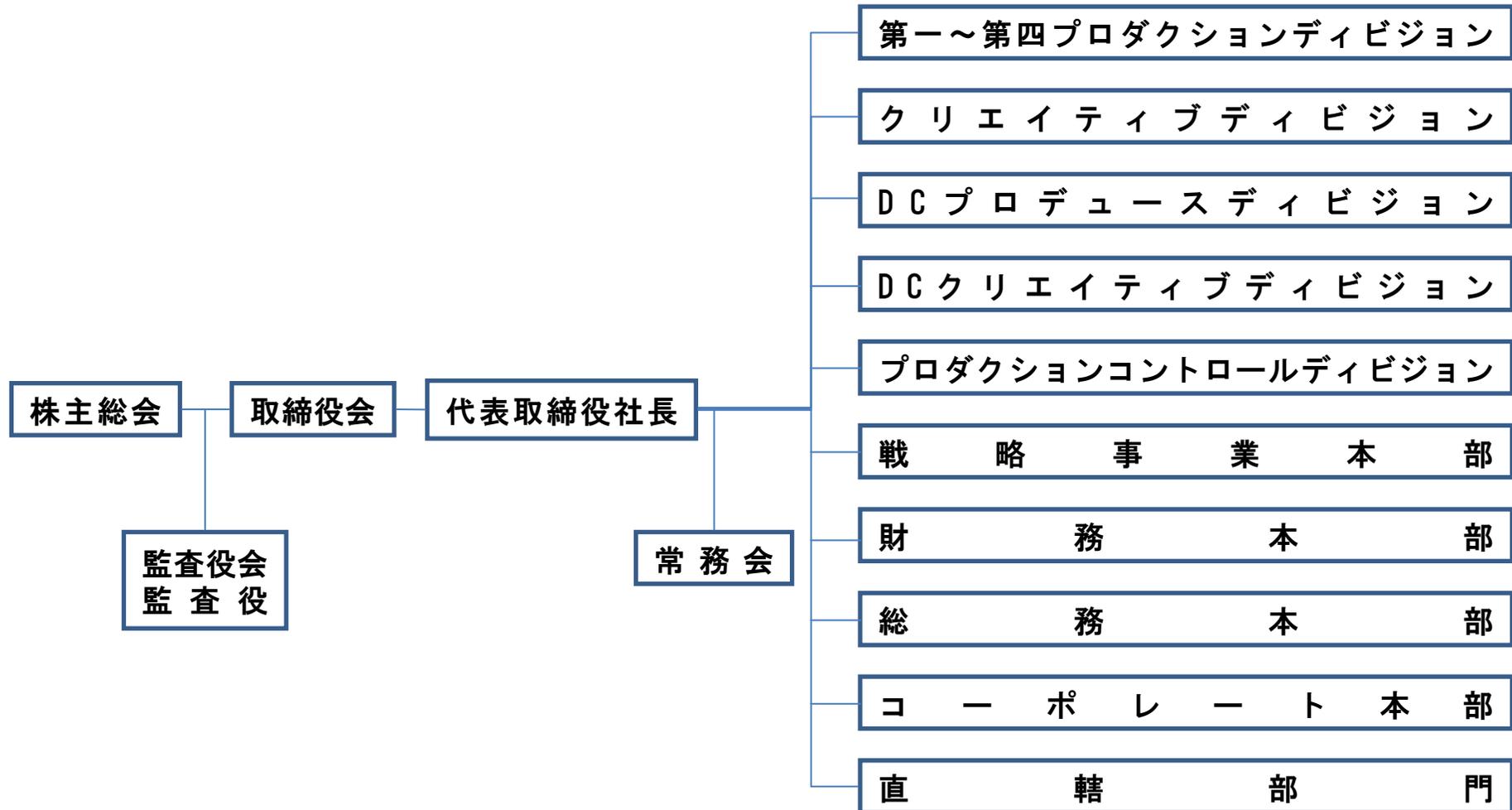
「AOIグループ all匠プロジェクト」とは

当社は、半世紀近くにわたって「ものづくり」を続けてきた会社であり、今、その原点に立ち返って、グループ全社員がそれぞれのビジネス分野において『匠』になることが、AOIグループのこれからを支える大きな糧になるものと考えスタートさせたプロジェクト。今後、教育研修制度の拡充や自己啓発の支援等を図っていきます。

スピード感のある効率的な経営を支えるための組織及びグループ管理体制の構築

- コーポレート本部を新設し、その下に経営戦略部（旧 総合計画部）、グループ統括部（新設）、グローバル統括部（新設）、広報IR部、グローバルMB部、法務部（旧 法務室）を設置することで、当社グループ全体の事業戦略策定機能、経営管理機能の強化を図る。
 - グループ統括部：グループ会社の拡大に合せた強固かつ効率的な経営管理機能を構築する。
 - グローバル統括部：海外への事業進出に合せた強固かつ効率的な経営管理機能を構築する。

新しい組織体制



当社グループ 12社



株式会社 葵プロモーション
テレビコマーシャルの企画・制作
デジタルコンテンツの企画・制作
www.aoi-pro.com



株式会社 シースリーフィルム
テレビコマーシャルの企画・制作
www.c3film.co.jp



株式会社 メディア・ガーデン
撮影スタジオの経営
www.media-garden.co.jp



株式会社 ホリーホック
写真スタジオ事業
www.ho-hock.co.jp



株式会社 デジタル・ガーデン
デジタル編集及びCGの企画・制作
www.dgi.co.jp



株式会社 パーゴルフ
ゴルフコンテンツの編集・出版
www.par-golf.com



株式会社 エムズプランニング
イベントや展示会の企画・運営
www.emsp.co.jp



株式会社 ティー・ケー・オー
新聞・雑誌・交通広告やSPツールの
企画・制作
www.tkonet.jp



株式会社 ワサビ
テレビコマーシャルの企画・制作
www.wasa-be.co.jp



株式会社 ビジネス・アーキテクツ
Webコミュニケーションコンサルティング事業
www.b-architects.com



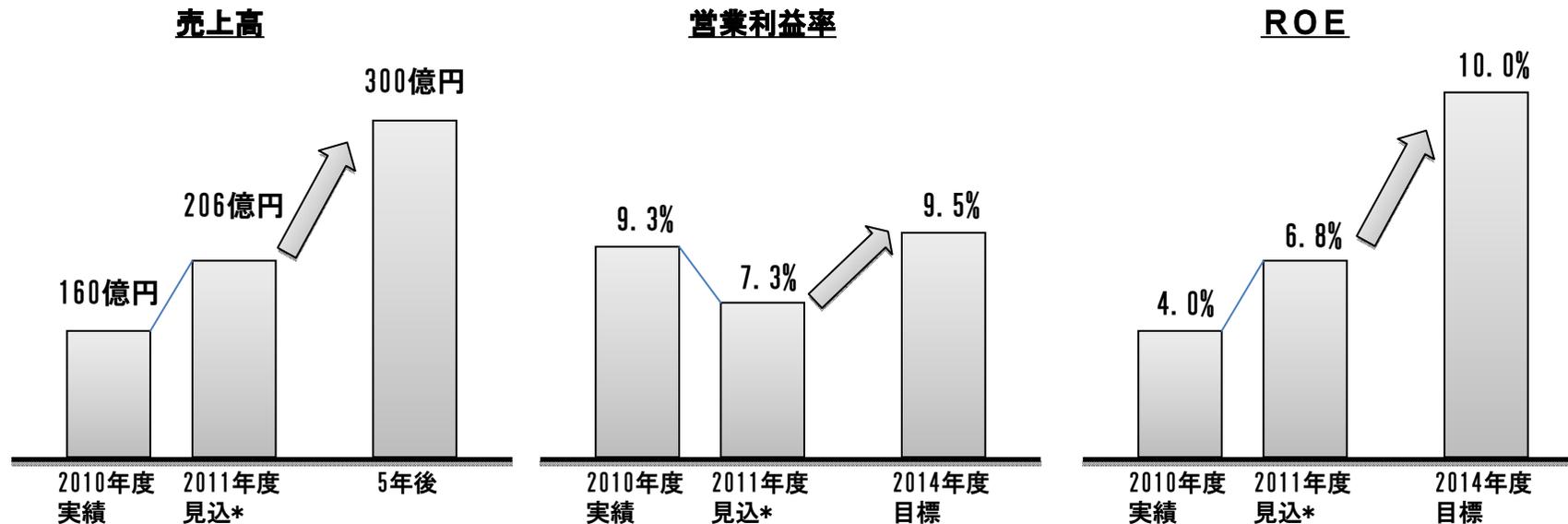
株式会社 スクラッチ
広告全般の戦略立案・企画・制作



PT. AOI ASIA INDONESIA
インドネシアにおけるテレビコマー
シャルの企画・制作

中期連結経営目標

目標指標	目標数値
連結売上高	300億円（5年後）
連結営業利益率	9.5%
連結ROE	10.0%



* 2011年度見込は、2012年2月10日に発表した業績予想に基づくもの。

見通しに関する注意事項について

本紙に記載した連結経営目標等の数値は、本資料発表日現在において入手可能である情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性があります。

